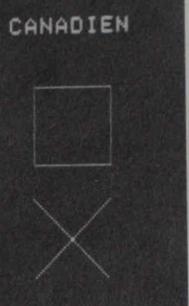


べて情報の貯蔵および伝達容量がはるかに少なくてすむため、効率がきわめて高い。単純な画像だと、記憶容量は平均五百バイト（四千ビット）以下ですむ。



左側が英仏のビデオテックスによる画像。右はテリドンの画像。図形描写能力の差は歴然だ。

## 複数のデータベースと接続も

現在のところ、テリドン・システムで伝達されるすべての情報はセンターラル・コンピューターに貯蔵された一個のデータ・ベースの中に入っている。しかし、今後は、それぞれのコンピューターに貯蔵されたいくつかのデータ・ベースがおかれようになり、テリドンのユーザーはすべてのデータ・ベースを利用できるようになるだろう。

逆に、同じPDI、同じデータ・ベースを使って、きわめて少ない図形要素しかディスプレイできないTV受像機に合

うような解像度の低い画像もだせる。解像力の高低を問わず、どんなディスプレイ・モニターにも使用できるわけである。

電子出版業界では、いま、テリドンのデータ・ベースの中の図形要素（点や線）がこの能力をフルに利用できるかどうかにある。テリドンのPDIは、現在、TV受像機、文書作製自動化装置（ワード・プロセッサー）、高解像図形端末器などのディスプレイ能力がぎりぎりまで利用できる。

データ・ベースに手を加えなくても、より上質の画像が得られるはずである。

また左から右へと順々に画像を描く必要がある。しかもTV受像機のカラーリ（転換器）の設計次第だ。将来は色彩、濃淡ともほとんど無限に出せるようにならねば、もっと沢山の色合いが出せるようにならねば、もっと沢山の色合いが出せるようにならねば、

「私たちは競合中のすべてのテレテキスト技術を検討した末、編集に最高の融通性のきくテリドンが最も好ましいという結論に達しました。テリドンの図形制作能力は、現段階における他のテレテキスト・システムの能力よりすぐれています」

タイム社のビデオ・グループ開発部  
部長 サーン・マツカーシー

解像の度合いおよび幅についても、テ

きちんと再生できるようになっている。  
しかも、テリドンは他のシステムと比



リドンにまさるシステムはない。テリドンのPDI II 図形描写指令（コンピュート